

夢をもって自ら学び、心身ともに元気で、豊かな心をもつ児童の育成

『 夢 元気 心 』

～笑顔が輝き、優しさあふれる学校～

佐世保市立江迎小学校
校長 岩谷 豪

子どもたちの一生懸命な姿には、関わる全ての人々を感動させ、笑顔にする力があります。昨年度、江迎町は「感動と笑顔にあえる町 江迎町」のスローガンのもと、江迎小・猪調小・江迎中の3校と地域が連携・協働し、江迎地区コミュニティースクールをスタートさせました。

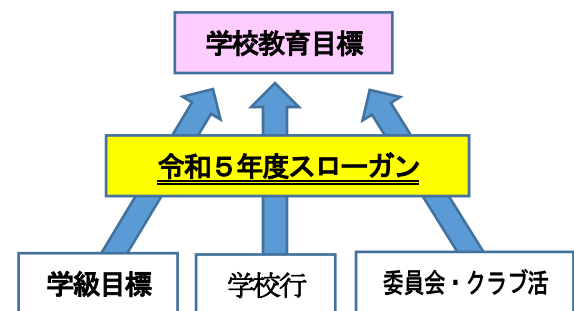
ふるさと教育の中核となり、ふるさとに生きる人々と連携・協働する特色ある豊かな教育活動を通して、元気な子ども、元気をあたえることのできる子どもを育てましょう。学校に集う人々を感動させ、笑顔にできる学校そして江迎町を学校と地域と家庭と子どもたちとともに創りましょう。

1 令和5年度スローガンは、「笑顔が輝き、優しさあふれる学校」

学校教育目標「夢をもって自ら学び、心身ともに元気で、豊かな心をもつ児童を育成」を具現化するための令和5年度スローガンを、「笑顔が輝き、優しさあふれる学校」にしました。

できなかったことができるようになった時の子どもたちの表情はとても輝いています。そのような表情がたくさん見られる学校であってほしいです。そして相手のことを思いやり、仲間を大切にする子どもたちになってほしいです。勉強に自信が付き、周りには仲間がいる安心感から「明日また学校に行きたい。学校が楽しい」と学校に行くことが楽しみになるような学校を目指します。

そのために、学級での活動、学校行事、委員会・クラブ活動を地域と連携・協働して行うことで、スローガンを達成し、学校教育目標の実現を図っていきます。



2 感動と笑顔にあえる あいさつ (100点あいさつ)

「おはよう・ありがとう・ごめんなさい・さようなら」がきちんと言える子ども

感動と笑顔をつたえるためには、相手の顔を見ることが大切です。そして、その表情から相手にどんなあいさつをしたらよいかを考えることが大切です。相手に合わせて、相手に喜んでもらえる、声の大きさ・表情・所作でのあいさつが、「感動と笑顔にあえる あいさつ」です。相手のことを考えるあいさつを通して相手を大切にする人権意識も高まります。

「おはよう・ありがとう・ごめんなさい・さようなら」がきちんと言えるために、それぞれの立場で、それぞれの場所で、子どもたちを鍛えていきましょう。そして、自分の見方・考え方を自分らしく堂々と笑顔で表現できる子どもたちを育てていきましょう。

3 規律と本気が生まれる 楽しい授業 (学習規律の徹底)

「ビシッ・ガヤガヤ・シーン・ビシッ」とした授業 (取組)

(1) まず規律 (ビシッ) を身につけさせます。

授業 (取組) において、「はじめ」と「おわり」はビシッとした礼節のある態度、授業中は規律

- ある話し方・聞き方・返事ができる子ども（学級）づくりに、根気強く取り組みましょう。
- (2) 活動したくて話したくて（ガヤガヤ）、聞きたくて書きたくて（シーン）が本気の姿です。
本気のガヤガヤのある授業（取組）をめざしましょう。そして、その学びを振り返るじっくり書く時間（シーン）を確保してください。その繰り返しが、確かな学力につながります。
- (3) 家庭学習の定着は学力向上の土台です。
学力向上するために家庭学習の定着は必要です。系統的かつ効果的な家庭学習となるよう、校内研修で情報を共有し、家庭学習の江迎小スタイルを子どもたちと共に創っていきましょう。

4 学年末を見通した取り組み（学期別の目標設定）

一度にすべてのことを行うことはとても難しいです。短期の目標を立て、一つ一つ目標を達成していきながら、自信をもたせ、次にステップアップできるようにしていきます。

○1学期：にこにこ（安心）期間

- ・「学校が楽しい」と思える支持的風土のある学級づくり、仲間づくり
- ・基本的な生活習慣、学習規律、家庭学習の定着

○2学期：じっくり（充実）期間

- ・授業の充実（ピシッ・ガヤガヤ・シーン・ピシッ）
- ・生活科、総合的な学習の充実

○3学期：かがやき（達成・感謝）期間

- ・1年間の学びの価値づけ（学習発表会 等）で「みんなで、できた」の共感
- ・1年間の学びを支えてくださった方への感謝「みんなに、ありがとう」を伝える

◎子どもたちの1年間の学びの価値づけ、可視化で自尊感情を高めていく。

※学校だより発行、掲示（児童玄関・職員室前ろうか・掲示板、会議室）、ホームページ

5 笑顔が輝き 元気に働く 職場づくり（1人の10歩より 10人の1歩）

わたしたち（教職員）が笑顔を輝かせましょう。大切な子どもの手本です。

(1) 「笑顔」と「元気」を大切に生きる。

「笑顔」と「元気」は子どもたちだけでなく、我々教職員にとっても大切にしたい言葉です。一人の大人として、笑顔で元気に生きる姿が、大切な子どもの手本となります。教えてくれる先生が生き生きと笑顔で接してくれることで子どもたちも安心して学習ができます。

教職員が健康で元気でなければなりません。笑顔で元気に働くためには、勤務規律の遵守と同時に、余暇の充実やリフレッシュも大切です。学校のことが頭から離れないこともあると思いますが、自分が好きなことをすることで、気分をすっきりさせ、笑顔を輝かせましょう。

(2) つながり、気づき、支え合える、あたたかい職場をつくる。

一人一人立場は違っても、子どもたちの笑顔を輝かせるためにこれから1年間教育活動を進める大切な仲間です。誰にでも得手不得手があります。そこを全員でカバーしあいながら、3月に喜び合える1年にしていきます。

そのために、互いにつながり、気づき、支え合える職場をつくりましょう。一人で悩んでも解決しなくてもみんなで考えれば解決策は見つかるはずです。お互い話をしやすい雰囲気をつくっていきながら、互いに気づき、支え合い、優しさあふれる職場にしていきたいと思います。

～「満開の花を咲かせましょう」～

春の温かい日差しを浴び、一つ一つ小さな花が咲いて、満開の桜の木になります。その中には最初に咲いた花、みんなと一緒に咲く花、少し遅れて咲く花、咲きかけたままの花。子どもたちにも一人一人個性があり、すぐにできる子もいれば、みんなと一緒ににはできない子もいます。その一人一人に温かい心の日差しを与えながら、子どもたちに寄り添い、関わりながら学校教育目標を達成させ、来年の春、江迎小に満開の花を咲かせましょう。